

サンプル採取方法の比較

項目	現行(食品衛生法ベース)	ピーナッツのアラトキシン サプリングプラン(Codex)	穀物のサプリング方法(EU)																																																						
検査対象ロット	<p>○倉庫(倉番)単位。</p> <p>ロットの大きさ(袋数)→重量換算(ト)</p> <p>(30kg袋の場合)</p> <table border="1"> <tr><td>≤15</td><td>≤0.45</td></tr> <tr><td>16~25</td><td>0.45&lt;重量≤0.75</td></tr> <tr><td>26~80</td><td>0.75&lt;重量≤2.7</td></tr> <tr><td>91~150</td><td>2.7&lt;重量≤4.5</td></tr> <tr><td>151~280</td><td>4.5&lt;重量≤8.4</td></tr> <tr><td>281~500</td><td>8.4&lt;重量≤15</td></tr> <tr><td>501~1200</td><td>15&lt;重量≤36</td></tr> <tr><td>1201~3200</td><td>36&lt;重量≤96</td></tr> <tr><td>3201~10000</td><td>96&lt;重量≤300</td></tr> <tr><td>10001~35000</td><td>300&lt;重量≤1050</td></tr> <tr><td>35001~150000</td><td>1050&lt;重量≤4500</td></tr> <tr><td>150001~500000</td><td>4500&lt;重量≤15000</td></tr> <tr><td>500001≤</td><td>15000&lt;</td></tr> </table>	≤15	≤0.45	16~25	0.45<重量≤0.75	26~80	0.75<重量≤2.7	91~150	2.7<重量≤4.5	151~280	4.5<重量≤8.4	281~500	8.4<重量≤15	501~1200	15<重量≤36	1201~3200	36<重量≤96	3201~10000	96<重量≤300	10001~35000	300<重量≤1050	35001~150000	1050<重量≤4500	150001~500000	4500<重量≤15000	500001≤	15000<	<p>○ロット又はサブロット単位。</p> <p>※サブロットの考え方 25≤重量≤100の場合、25トン単位。 100&lt;重量&lt;500の場合、5つに分割。 500≤の場合、100トン単位。</p> <p>ロットの重量(ト)</p> <table border="1"> <tr><td>≤1</td><td>10</td></tr> <tr><td>1&lt;重量≤5</td><td>40</td></tr> <tr><td>5&lt;重量≤10</td><td>60</td></tr> <tr><td>10&lt;重量≤15</td><td>80</td></tr> <tr><td>15&lt;重量≤25</td><td>100</td></tr> <tr><td>25≤重量≤100</td><td>100</td></tr> </table>	≤1	10	1<重量≤5	40	5<重量≤10	60	10<重量≤15	80	15<重量≤25	100	25≤重量≤100	100	<p>○ロット又はサブロット単位。</p> <p>※サブロットの考え方 50≤重量≤300の場合、100トン単位。 300&lt;重量&lt;1500の場合、3つに分割。 1500≤の場合、500トン単位。</p> <p>ロットの重量(ト)</p> <table border="1"> <tr><td>≤0.05</td><td>3</td></tr> <tr><td>0.05&lt;重量≤0.5</td><td>5</td></tr> <tr><td>0.5&lt;重量≤1</td><td>10</td></tr> <tr><td>1&lt;重量≤3</td><td>20</td></tr> <tr><td>3&lt;重量≤10</td><td>40</td></tr> <tr><td>10&lt;重量≤20</td><td>60</td></tr> <tr><td>20&lt;重量≤50</td><td>100</td></tr> <tr><td>50≤</td><td>100</td></tr> </table>	≤0.05	3	0.05<重量≤0.5	5	0.5<重量≤1	10	1<重量≤3	20	3<重量≤10	40	10<重量≤20	60	20<重量≤50	100	50≤	100
≤15	≤0.45																																																								
16~25	0.45<重量≤0.75																																																								
26~80	0.75<重量≤2.7																																																								
91~150	2.7<重量≤4.5																																																								
151~280	4.5<重量≤8.4																																																								
281~500	8.4<重量≤15																																																								
501~1200	15<重量≤36																																																								
1201~3200	36<重量≤96																																																								
3201~10000	96<重量≤300																																																								
10001~35000	300<重量≤1050																																																								
35001~150000	1050<重量≤4500																																																								
150001~500000	4500<重量≤15000																																																								
500001≤	15000<																																																								
≤1	10																																																								
1<重量≤5	40																																																								
5<重量≤10	60																																																								
10<重量≤15	80																																																								
15<重量≤25	100																																																								
25≤重量≤100	100																																																								
≤0.05	3																																																								
0.05<重量≤0.5	5																																																								
0.5<重量≤1	10																																																								
1<重量≤3	20																																																								
3<重量≤10	40																																																								
10<重量≤20	60																																																								
20<重量≤50	100																																																								
50≤	100																																																								
試料の採取及び縮分方法	<p>○最低限、上記の抽出個数から穀刺しによりサンプルを採取し、1kgの試料とする。</p> <p>※ばら積み貨物の検体採取は、サイロ又ははしけ又はコンテナ単位で、15箇所から計10kg以上採取したものを縮分して1検体(1kg以上)とする。</p>	<p>○1箇所につき200g以上のサンプルを採取し、1ロットあたり合計20kgの試料を作成する。</p> <p>○作成した試料は混合し均一にして、最低100gを分析試料とする。</p>	<p>○作成する試料の合計重量は、ロットの重量によって異なる。</p> <p>○1箇所につき100g以上のサンプルを採取し、混合する。</p>																																																						
その他	<p>※穀刺しによる1刺しで約15gの試料が採取できる。実態は1袋あたり2箇所以上刺している。1tフレコンの場合、1刺しで約100~150gの試料が採取できる二重管刺を使用している。</p>	<p>○コンテナ等容器に入っている場合は、専用の機器を使って容器内全体からうまく採取する。</p> <p>より不作為にサンプルを採取する場合は、ロットの移動時に(ベルトコンベア等のライン上にて)一定間隔でサンプル採取する。</p>	<p>○サブロットに分割できない場合は、100箇所以上から採取する。</p>																																																						